

春まじか、車の調子はいかがでしょう？今回は日常是非行ってもらいたい点検箇所や今、特に各メーカーから定期点検・定期修理を勧められている箇所についてお話したいと思います。

点検の話

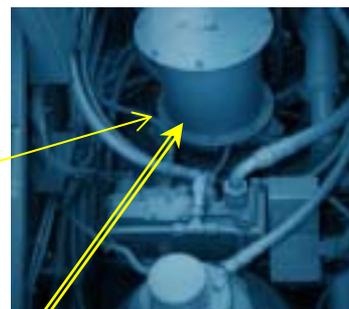
1.エンジン回りの点検

1-1.エンジンオイルの量・汚れ・漏れ

エンジンにとってオイルの不足は焼き付きなど致命的な故障を引き起こします。量・漏れについては特に注意すべきです。又汚れについてもオイルの持っている本来の性能が発揮できず、これまた大ダメージになる故障に繋がります。

1-2.ラジエーターの水の量・汚れ・漏れ

量・汚れ・漏れともエンジンのオーバーヒートに繋がります。右の写真はラジエーターの巡回中心部を写したのですが、この部分から水漏れが起こる事があります。この部分温水スイベルジョイントといい、コベルコより定期整備を行う箇所としてサービス情報が届いています。



コベルコ建機より 対象機種 RK250-3・RK350・RK450-2(ハンサーシリーズ)

温水スイベルジョイントはシールなどの劣化により、水漏れが発生しエンジンの冷却水が減少しオーバーヒート等の不具合を誘発する恐れがありますので、シールの定期交換を実施するようお願いいたします。すでに漏れている場合は即修理が必要です。

定期交換時期は24ヶ月毎又は2400時間毎のいずれか早い時期です。

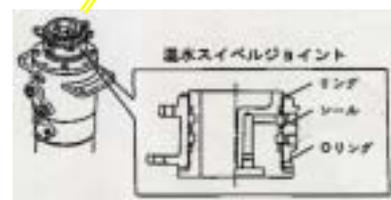
ボディに錆びが発生している場合温水スイベルジョイントASSY交換が必要になります。

1-3.ファンベルトとの損傷・緩み・切損

これもエンジンオーバーヒートの原因の一つです。更にバッテリーが上がったり、機種によってはブレーキの効きが甘くなったりしますので、十分な注意が必要です。

1-4.排気漏れ

酷い場合はエンジンルームの火災やエンジンや他の機器の焼損に繋がります。



2.トルコン・トランスミッション回りの点検

2-1.トルコン・トランスミッションオイルの量・汚れ・漏れ

量の不足は致命的故障を引き起こします。又多い場合も油温が上昇したりしますので、十分注意が必要です。汚れについては、通常車両のトルコンオイルは赤いオイルが使われています。赤い色がどす黒くなったり、焼けた異臭がしたら交換時期以上に使用していたと思っても間違いありません。早めの交換が必要です。同時にエレメントの交換もお願いします。

2-2.プロペラシャフト回りのガタ付き及び給油状態

プロペラシャフトで重要なのは、ガタ付き及び給油状態です。プロペラシャフトを揺すってみてガタを感じたら早めの修理が必要です。又定期的にベアリング部分に給油する事が肝心です。

3.ブレーキ回りの点検

3-1.ブレーキパッドの残量及びブレーキディスク回りの油漏れ

ブレーキパッドは点検棒などによる簡易的 point check で十分です。残量に不安を感じたら即国際サービスに修理依頼してください。ブレーキパッド回りの油漏れも同様です。

何回もこのニュースで取り上げていますが、パッドの摩耗限度を越え破損に近い状態で入工されるお客様が多数います。

3-2.ブレーキオイルの量・漏れ

ブレーキオイルの容量は他のオイルに比べ少量です。漏れを発見した場合躊躇せず国際サービスに修理依頼してください。又ブレーキオイルの交換時期は1年毎になっています。定期的交換をお願いします。

4.クレーン部の点検

4-1.作動油の量・汚れ・漏れ

作動油の容量は車両のなかで一番の大容量といえます。量が多いからといって油漏れを見逃しておくとお大変な事になる可能性があります。又油圧機器は非常に精密に作られていますので、定期的交換をお願いします。

タダノより

対象機種 トラッククレーン及びラジエーター(一部型式を除く)

右の写真はウインチクラッチ用O-リングジョイントです。O-リングジョイント(ウインチクラッチ用)が損傷するとクラッチ圧力が保持できなくなり、クレーン作業中に吊り荷の落下事故につながります。定期点検(始業前点検・月例点検・年次点検)を行い油漏れ・ガタ付き・異音等の有無を点検してください。

少しでも不具合があった場合即交換をお願いします。又不具合が無い場合

でも2年毎に定期交換をお願いします。

シャフトのガタの有無・異音の有無

4-2.ワイヤー・フック・シーフ類回りの摩耗・破損・動作状態

ほっておくと大事故に繋がります。過信せず国際サービスに修理依頼してください。

以上日常に行ってもらいたい点検項目やメーカーからの定期点検・修理箇所をご紹介しました。

ご紹介した点検箇所は最低限の点検とご承知ください。より詳細な点検などは各点検記録簿に基づき行ってください。更に月例・年次・特定自主・法定点検等は国際サービスが責任も持って承っておりますので是非ご利用ください。尚ここでご紹介したメーカーからの点検・定期修理箇所は有償工事となりますのでご了承くださいませようお願い致します。

以上 ご不明な点、分からない事がございましたら国際サービスにご相談ください。
又メールでのお問い合わせは suzuki@kokusai-s.co.jp までお願いします。

